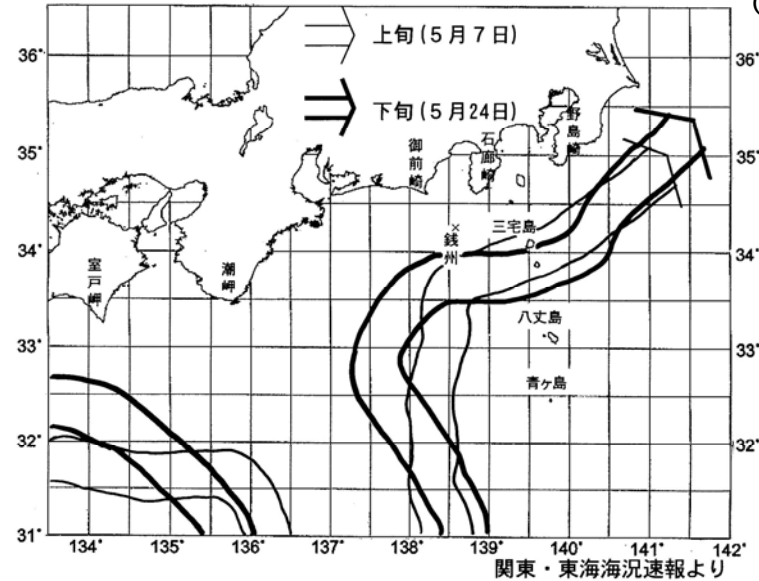


漁海況月報

令和元年5月1日

No.5 ~5月31日

静岡県水産技術研究所
(電話 054-627-1815)
静岡県水産術研究所 伊豆分場
(電話 0558-22-0835)



5月定地水温の旬平均値() (下段は偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津
上旬	17.6	18.0	17.6	19.3	18.9	19.4
	0.6	1.4	0.7	1.6	0.7	1.9
中旬	18.7	19.2	18.8	20.6	19.6	19.6
	0.9	1.7	1.1	2.1	0.7	1.2
下旬	20.0	19.5	18.9	21.6	21.7	21.1
	1.1	1.3	0.5	2.1	2.2	1.8
月	18.8	18.9	18.5	20.5	20.1	20.3
	0.9	1.5	0.9	1.9	1.2	1.9

*地頭方の水温観測は終了しました。

【黒潮流路】

5月を通じてA型で、上旬は潮岬沖31.5°Nから南南東に進み、30°N、137.5°E付近まで南下した後に、138-139°Eの間を北上し、33.5°N付近から北東に向きを変え流去した。中旬は潮岬沖31°Nから南東に進み、30.5°N、138°E付近まで南下した後に、138-139°Eの間を北上し、33.5°N付近から北東に向きを変え流去した。下旬は潮岬沖31°Nから南東に進み、30.5°N、137.5°E付近まで南下した後に、137-139°Eの間をS字状に北上し、三宅島付近から北東に流去した。

月を通じて黒潮が本県沖を北上し接岸傾向にあったため、遠州灘～相模湾沖に暖水が分布した。相

模湾では、大島西水道からの暖水波及が断続的に見られた。

【県下沿岸域】

5月上旬は、伊東、稲取、下田、沼津「やや高め」、雲見、焼津「高め」であった。中旬は、伊東、下田、沼津、焼津「やや高め」、稲取、雲見「高め」であった。下旬は、伊東、稲取、下田「やや高め」、雲見、沼津、焼津「高め」であった。

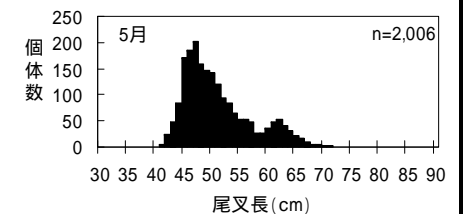
【竿釣りカツオ】

5月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海及び沿岸竿釣り船によるカツオの水揚量は215トンで前年同月(176トン)の1.2倍であった。魚価は346円/kgで前年同月(371円/kg)を下回った。

漁場は33-35°N、137-139°Eの駿河湾沖や遠州灘沖、伊豆諸島周辺海域であり、水揚げされた魚体サイズは、小(尾叉長47cmモード)を主体に、中(尾叉長51cmモード)、大(尾叉長62cmモード)などであった。

竿釣り(近海+沿岸船)カツオ水揚量(県内主要5港)

期間	水揚量(ト)	水揚隻数	平均水揚量/隻(ト)	平均単価(円/kg)
R元年5月上旬	51	19	2.7	398
中旬	87	21	4.1	274
下旬	77	28	2.8	392
R元年5月計	215	68	3.2	346
H30年5月計	176	43	4.1	371
H29年5月計	146	35	4.2	424



御前崎港における尾叉長組成

【定置網】

伊豆半島東岸大型定置網7か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚量は332.2トンで前年の同漁場の水揚量(433.8トン)の77%であった。また、1か統あたりの水揚量は、47.5トンで前年(62.0トン)の77%、平年(昭和57年～平成30年の平均70.8トン)の67%であった。水揚量の多い漁場は、伊豆山漁場(118.9トン、さば類、マイワシ、カタクチイワシ)、次いで北川漁場(64.5トン、さば類、スルメイカ、マルソウダ)であった。

多獲された魚種の水揚量は次頁(表)の通りで、さば類は171.2トンで前年比54%、平年比1.3倍であった。さば類のうち、マサバは95.9トンで前年比73%、平年比3.5倍、ゴマサバは75.3トンで前年比41%、平年比65%であった。マルソウダは25.3トンで前年比1.1倍、平年比47%であった。シイラは22.9トンで前年比15.1倍、平年比4.9倍と、5月の漁獲量としては昭和57年以降、平成21年に次いで漁獲量が多かった。マイワシは18.5トンで前年比10.4倍、平年比1.0倍であった。スルメイカは16.0トンで前年比2.5倍、平年比1.2倍であった。

多獲された魚種の主な漁場は、次頁(表)の通りで、各漁場の漁獲量の割合は、さば類では伊豆山漁場が52%(89.0トン)、北川漁場が17%(28.6トン)、マルソウダでは川奈漁場が30%(7.7トン)、北川漁場が27%(6.7トン)、古網漁場が19%(4.8トン)、谷津漁場が18%(4.5トン)、シイラでは北川漁場が51%(11.6トン)、古網漁場が17%(3.8トン)、マイワシでは伊豆山漁場が42%(7.7トン)、北川漁場が30%(5.6トン)、赤沢漁場が20%(3.7トン)、スルメイカでは北川漁場が43%(6.9トン)、富戸漁場が28%(4.5トン)を占めた。

(表) 多獲された魚種の漁獲量と主な漁場

魚種	漁獲量(トン)	前年比	平年比	主な漁場
さば類	171.2	0.54	1.29	伊豆山、北川
マルソウダ	25.3	1.12	0.47	川奈、北川、古網、谷津
シイラ	22.9	15.13	4.87	北川、古網
マイワシ	18.5	10.39	0.99	伊豆山、北川、赤沢
スルメイカ	16.0	2.49	1.17	北川、富戸

[サバたもすくい・棒受網]

小川港所属の棒受網船は、中旬まで棒受網操業を行ったが、下旬には一部の船が大型のマサバを対象としたたもすくい操業を行った。漁場は上旬は主に銭洲、中旬以降は主に大室出しに形成された。水揚量はマサバ561トン(前年同月比230倍)、ゴマサバ280トン(前年同月比57%)であり、1隻あたり水揚量はマサバ11.4トン(前年同月0.1トン)、ゴマサバ5.7トン(前年同月17.5トン)であった。1kgあたり平均単価はマサバ81円で前年同月(99円)前月(89円)を下回った。ゴマサバは85円で前年同月(98円)前月(99円)を下回った。

漁獲されたマサバの体長組成(下旬)は尾叉長38~39cmにモードを持つ単峰型、ゴマサバの体長組成は尾叉長32cmにモードを持つ単峰型であった。

小川港 さば類(たもすくい・棒受網漁業)水揚量

期 間	水揚量(トン)		水揚日数	水揚隻数	水揚/隻(トン)		単価(円/kg)		漁 場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
R元年5月上旬	58	75	4	12	4.8	6.3	79	86	銭洲、中の瀬
中旬	154	31	5	12	12.8	2.5	93	91	大室出し
下旬	349	174	6	25	14.0	7.0	76	84	大室出し、利島
R元年5月計	561	280	15	49	11.4	5.7	81	85	大室出し、利島、銭洲
H30年5月計	2	489	9	28	0.1	17.5	99	98	三宅、大室出し、銭洲
H29年5月計	11	1,009	13	43	0.3	23.5	72	91	御蔵、銭洲、三宅

*水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

[サクラエビ船曳網]

5月の出漁日数は10日、水揚量は66.5トンであった(前年同月の出漁日数は10日、水揚量は165トン)。自主規制により湾奥部(沼津沖~興津沖)を禁漁区と定めたことから、焼津沖~相良沖で操業が行われた。漁獲されたサクラエビは体長38mm付近にモードを持つ群が主体であった。

なお、今春漁は5月31日夜の操業で終漁し、総水揚量は85.4トン、出漁日数は16日であった。

サクラエビ水揚量

期 間	水揚量(トン)	日数	漁 場
R元年5月上旬	13.4	3	焼津沖~相良沖
5月中旬	15.6	2	焼津沖~相良沖
5月下旬	37.5	5	焼津沖~相良沖
R元年5月計	66.5	10	-
H30年5月計	164.8	10	由比~興津沖
H29年5月計	625.9	15	富士川沖~由比沖、興津沖
H28年5月計	589.2	13	焼津・大井川沖、富士川沖

*水揚量は、旬ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

[シラス船曳網]

県内主要6港における1日1か統当りの水揚量は、駿河湾(静岡、吉田)が513kg、遠州灘(御前崎、福田、舞阪、新居)が699kgであった。平均水揚量は629kgと前年同期(639kg)の98.4%、平年同期(過去5か年平均:845kg)の74.4%であった。また、総水揚量は1,490.2トンで前年同期(1,280.4トン)の1.2倍、平年同期(2,070.2トン)の72.0%と、前年同期を上回り、平年同期を下回った。平均単価は775円/kgと、前年同期(865円/kg)の89.6%、平年同期(467円/kg)の1.7倍と、前年同期を下回り、平年同期を上回った。

シラス水揚量(主要6港)

漁 港	水揚量(トン)	延日数	延統数	平均漁獲量(kg/統)	平均単価(円/kg)
新 居	137.8	16	220	626	629
舞 阪	470.7	16	648	726	699
福 田	299.2	16	422	709	686
御前崎	122.6	17	185	663	714
吉 田	251.7	22	418	602	883
静 岡	208.2	22	478	436	1,076
R元年5月計	1,490.2	109	2,371	629	775
H30年5月計	1,280.4	93	2,004	639	865
H29年5月計	2,568.2	120	2,661	965	455

*各港の数値は四捨五入しているため、各港合計と月計の値は一致しない場合がある。

*平年同期:過去5か年(平成26~平成30年)平均値

[まき網(いわし類)]

マイワシの水揚量は、沼津港では11.8トン(前年同月比8.3%、平年同月比6.8%)、小川港では96.5トン(前年同月比357.3倍、平年同月比1.4倍)、伊東港、静浦港において水揚げはなかった。カタクチイワシは、伊東港、静浦港、沼津港、小川港において水揚げがなかった。

なお、伊豆半島東岸の大型定置網7か統の水揚量は、マイワシは18.5トン、カタクチイワシは13.2トンであった。
*平年:過去5か年(平成26~平成30年)平均値

[調査船駿河丸の動向]

5月 7日	地先定線観測調査	(1日間)
5月 8日 ~ 5月 9日	地先定線観測調査	(2日間)
5月 15日 ~ 5月 17日	伊豆諸島周辺カツオ魚群分布調査	(3日間)
5月 23日 ~ 5月 24日	サバ標識放流調査(大室出し)	(2日間)
5月 27日 ~ 5月 28日	サクラエビ調査(卵数法)	(2日間)

静岡県水産技術研究所のホームページ

3月からホームページのアドレスが変わりました。

httpと://fish-expの間にsが追加され、https://fish-expになります。

パソコンからは..... <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは..... <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星NOAAの海面水温分布画像と関東・東海海況速報を見ることができます。

